

公的支援の増額も

090219
GM、クライスラー 再建計画を提出

米ゼネラルモーターズ(GM)とクライスラーは17日、政府からの支援と引き換えに求められていた経営再建計画を提出した。GMは米国市場の不振が長引くダウンシナリ



経営再建計画について発言するフコナーGM会長(17日、米デトロイト(FIA)時報)

オで推移した場合、追加支援として165億ドル(約1兆5280億円)、すでに昨年末に決定しこれまでに実施されつつなき融資135億ドル(約1兆2500億円)と合わせて300億ドル(約2兆7780万円)の政府支援が必要になる可能性があるとの試算を明らかにした。GMは09年末までに全世界の従業員25万人のうち4万7千人を削減するほか12年までに米国で14の工場を閉鎖する計画。

(2、3面に関連)

「2009-2014リス
トラックチャリンプラン」と題したGMの再建計画は、前の計画を昨年12月2日に発表したあとに表面化したリスク

を織り込んで策定した。北米を中心に損益分岐点を下げて11年に「オペレーティング・キャッシュフロー」をブレークイーンに持つていき収益体質に転換する計画だが、退職者向けの医療保険制度で全米自動車労組(UAW)と合意に至らないなど不確定の部分もある。米国政府は最低1、2週間をかけて内容を精査し追加融資するかどうかを決める。

米国市場におけるGMの損益分岐点は、従来は1200万〜1300万台に設定していたが、1月に年換算の市場規模が1千万台を割り込むなど落ち込みが加速したのを受けて、1150万〜1200

万台に引き下げた。09〜11年の市場規模は基本シナリオで1050万台、12550万台、1430万台。ダウンシナリオでは950万台、1150万台、1280万台と鈍い回復を予測する。

米国市場ではシボレー、キャデラック、ビュイック、GMCの4ブランドに経営資源を集中する。ハマー、サブ事業の売却のほか、日本車対抗で1990年代に始めたサターンも事業売却に踏み切り、買い手がつかない場合には現行モデルを数年間販売して撤収する。米国のGMデ

イラー数は08年の6246から12年に4700へ、14年には4100まで減らして都市部と郊外を中心にオーバーストアを解消する。車種は12年までに36と、

08年に比べて25%削減して生産効率を高める。

退職者向け医療費負担を母組主導の基金に移す医療保険制度の見直しは大筋合意に達せず、交渉が続ける。無担保債務を3月末までに3分の1に圧縮するという政府の要求についてGMとクライスラーは、社債保有者が債務の株式化に応じる形で実現できるとの見通しを示した。

GM、クライスラー再建計画の骨子

[GM]

- ・2011年までに回転信用枠75億ドルを含む最大300億ドル(約2兆7700億円)の公的支援が必要になる可能性がある。
- ・今後1年間で全世界の従業員を4万7000人以上削減。
- ・工場閉鎖を5カ所追加、2012年までに14カ所を閉鎖。
- ・2年間で黒字転換を目指す。
- ・米国内のブランドを「シボレー」「キャデラック」「ビュイック」「GMC」に集約。
- ・「サブ」と「サターン」を売却、「ハマー」は廃止を含めて見直し検討。
- ・販売店を大幅に削減。

ポンティアック

[クライスラー]

- ・公的支援要額を20億ドル上乗せ。既に実施した分を含め総額90億ドルに。
- ・年内に従業員3000人の追加削減と3億ドルの資産売却を計画。